

## 概 要

名古屋大学は、2015年5月、国連機関UN Womenが取り組む女性の権利と男女平等を支援する「He For She」キャンペーンのパイロット事業「IMPACT10×10×10」に、オックスフォード大学（イギリス）、ジョージタウン大学（アメリカ）、香港大学（中国）らとともに、「世界の10大学」のひとつとして、国内で唯一選出されました。日本から選出されたのは、安倍晋三首相と本学の松尾清一総長のみ、「世界の10大学」の学長中、アジア人も松尾総長のみです。これは、本学が進めてきた男女共同参画推進事業の実績が、国際的に評価された結果と言えます。

本学はこれまで、総長のリーダーシップのもと、女性研究者の積極的採用および上位職への登用の促進、2つの学内保育所と、常設としては全国初の学童保育所の設立をはじめとしたワークライフバランス促進支援のための環境整備、2013年度採択文部科学省博士課程教育リーディング・プログラム「〈ウェルビーイング in アジア〉実現のための女性リーダー育成プログラム」による女性リーダー育成、2004年全国に先駆けて創設した「あいち男女共同参画社会推進・産学官連携フォーラム」（メンバー：愛知県、名古屋市、愛知県経営者協会、名古屋大学）と、2014年には、同フォーラムを基盤とした「AICHI女性研究者支援コンソーシアム」（メンバー：名古屋大学、名古屋市立大学、豊橋技術科学大学、愛知県、名古屋市、愛知県経営者協会、愛知中小企業家同友会、トヨタ自動車）を通じた愛知県内の産学官連携による女性研究者支援の強化など、幅広い男女共同参画事業を行ってきました。

今回の「世界の10大学」選出により、今後は、UN WomenおよびHeForSheキャンペーン世界10大学との連携、および、本学アジアキャンパス等との学内連携を活かしたアジアとの連携により、世界・アジアの男女共同参画推進の拠点となることをめざし、新たな一歩を踏み出すこととなります。

今夏には、世界スカウト機構主催の「世界スカウトジャンボリー」に、UN Womenとともに参加し、世界152カ国から集まったボーイスカウトたちに、ジェンダー平等と女性の地位向上に向けて、この運動の賛同者となるよう奨励し、女性や少女に対する性差別を撲滅する行動を起こすよう呼びかけるHeForSheキャンペーンを展開する一方、特設ブースにおいて「〈ウェルビーイング in アジア〉実現のための女性リーダー育成プログラム」を通して、本学の女性リーダー育成支援を紹介しました。

また、環境整備の面では、仕事と育児・介護・家庭との両立によるキャリア継続支援策となる「名古屋大学キャンパス・ユニバーサルデザイン・ガイドライン2015」を策定し、キャンパス整備を進めています。6月には、研究棟内の一角に「多世代共用スペース」を開設し、利用者による自主性のもと、子育て中の教職員・学生とその家族が、子ども連れで安心して過ごすことができ、多世代にわたる人々が集い、交流し、つながりを回復する場としての利用を始めています。さらに来年2016年には、東海ジェンダー研究所の協力により、水田珠枝・名古屋経済大学名誉教授の蔵書を核とした、将来的には4万冊を所蔵予定のジェンダー・リサーチ・ライブラリーも建設します。

今後は、広く、世界・アジアと連携することで、21世紀の男女共同参画社会実現に向けた取り組みを、国内外に向けて、名古屋から発信していきます。

## IMPACT 10×10×10

UNIVERSITY  
IMPACT  
CHAMPIONSUN  
WOMEN  
United Nations Entity for Gender Equality  
and the Empowerment of Women

## 多世代共用スペース→

↑世界スカウトジャンボ  
リーでのキャンペーン活動